

ネズミ駆除の手引き



株式会社 H.L.P.R.

代表取締役 太田有彌 監修

目次

- 1 知能が高い
- 2 どう対処したらよいか？

3 駆除の仕方の基本

《 現実的・根本的な駆除・防除対策 》

- 4 駆除・防除の方法
- 5 ネズミによる2次被害対策
- 6 駆除・防除の手順

～～ 住居の場合 ～～

～～ 飲食店の場合 ～～

1 知能が高い

ご承知の通り、ネズミは哺乳類です。

知能が大変発達していて、学習能力の極めて高い生き物です。

鳥のカラスも、皆さんご承知の通り、とても知能が高い動物ですが、ネズミも負けてはいません。

犬や猫と比べたらどうでしょうか？

野良犬や野良猫といった、野生の犬猫であればそれぞれ警戒心が非常に高く、優劣を決めるのは難しいかもしれませんが、最近では、人間が餌を与える場合がよくあります。

しかし、ネズミやカラスに餌は与えません。不用意なゴミの放置は餌やりと同じですが人間がネズミやカラスを可愛がって与えることはありません。

人が餌を与える犬・猫と、与えないネズミ・カラスでは、危機意識が違う分だけ、ネズミ・カラスの方が知恵を使う頻度が高く鍛えられているような気がします。

実際、ネズミの駆除作業をしていて、こちらが遊ばれているのではないかと、思ってしまうほど、警戒心と知恵で捕獲処理や殺そ剤による駆除に苦心することが稀ではありません。

殺そ剤（毒餌）を食べてくれない。

とか、

生け捕りカゴにも、粘着トラップにも捕まらない。

といったことは日常茶飯事です。

もちろん簡単に解決することもあります、簡単に解決したらラッキーなことです。

学習の進んだネズミ、親ネズミなどは捕獲、殺そが極めて困難です。

子供のネズミは直ぐに捕まり、毒餌も食べてくれます。

駆除が簡単です。

理由は学習していないからです。

しかし肝心の親ネズミが難しい！

侵入したと思われる穴をいくつも塞いで、どこにも穴がないと思われるにも関わらず、まだ出てくるということがよくあります。

ということで、先ず、ネズミ駆除の難しさをお話しました。

このテーマは駆除の方法をお伝えすることですが、直ぐに解決したら、それは幸運なことだということをお伝えするためです。

直ぐに解決しないことが極めて普通のことだということをお先ず知って頂くためです。

駆除業者さんの技術力といわれるものは、

いかに上手く毒餌を食べさせて殺そするか。

いかに上手く捕獲するか。

いかに上手く出没穴や進入路を見つけて閉鎖したり、侵入させない対策を講じるか。

で決まります。

それらのために全力で取り組みます。

2 どう対処したらよいか？

さて、そんなネズミですが

どう対処したらよいのでしょうか？

駆除業者が難しいものを、素人の皆さんがどうやって駆除するのだろうか？

とお思いになるでしょうね。

少し、話がそれますが、私たち業者が駆除を行うに際して、
先ず調査を行います。

目視調査、捕獲調査、喫食調査、聞き取り調査などです。

この中で、聞き取り調査というのは、生息空間でいつも生活をしていたり、
作業をしている方に、状況をお伺いする調査のことです。

例えば、「前回、お伺いしてから今日までの間にネズミが出ましたか？」、

「いつごろ見かけましたか？」とか、「どの辺で見ましたか？」といったこ
とです。

いつもそこにいるので詳しく状況を知っているわけですね。

さて、ここが重要なところですよ。

いつ、どこで見たか、食べ物や包装、容器をかじられていないか、鳴き声
が聞こえたか、等です。

それらの情報は、判断材料としてとても重要なものです。

また、見かけたのは1週間前か、昨日か、1ヶ月前か。

それにより、判断が異なります。

ここでお伝えしたいのはいつも現場にいる皆さんが一番詳しい情報を持っ
ているということです。

いつも、その場にいるわけですから、いつでも、タイミングよく対応できる
わけです。その利点を十分に活用するわけです。

● 駆除の仕方の基本

では、駆除の仕方をご説明したいと思います。

ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミといった都会で頻繁に問題になる、いわゆるイエネズミはそれぞれ、大きさや性質など特徴が異なっていますので、対応も異なります。しかし、基本は同じで、

- 1) 侵入してしまったものを捕獲・殺そによって駆除すること（駆除）
- 2) 侵入させないこと（防除）

の2つです。

あまりにも当たり前のことですので、そんなことか！と思われても仕方ないですね。

でも、お話ししました業者さんの技術力を見て頂ければ、そうか！と思われることと思います。

それでは、住居と飲食店についてご説明します。

◀ 現実的・根本的な駆除・防除対策 ▶

● 駆除・防除の方法

駆除処理

1) 捕獲 粘着マット、生け捕りカゴ、圧殺式トラップ

(パチンコ) の利用

2) 殺そ 毒餌の使用

忌避処理 (追い出し)

1) 燻蒸 (バルサントイプ) やハッカ、カプサイシンなどの薬剤使用

2) 超音波機器の利用

侵入防止対策

1) 建物の外側 (屋根、外壁、基礎、配管などの貫通部) の開口部の閉鎖

2) 建物の内側

① 【住居】

押入れ・居室・台所・玄関・寝室など全ての空間の天井部、天井と壁の接合部、壁と床の接合部、シンク下の収納の内・外、作り付け収納の内・外、換気扇部、エアコン配管貫通部などの隙間の閉鎖

②【店舗】

天井部（エアコン、換気扇、換気口、配管貫通部、ダクト・フード回りなど）・
壁面部（排煙口、換気扇、換気口、収納棚回り、配管貫通部など）の隙間の
閉鎖、床の破損開口部、排水施設・設備からの侵入防止策の実施

● ネズミによる２次被害対策

◇ ダニ・ノミなどを持ち込むため、駆除と同時に殺虫を行う

放置すると、座布団、布団、畳、マットなどいたるところで痒みを感じるよ
うになる。衣類や座布団にダニ、ノミが移ったとおもわれたら、洗濯し、天
日干しする座布団、布団、マットは殺虫剤を噴霧後、天日干しにする

畳は専用の殺虫スプレーで駆除する

ダニアレルギー予防のため、駆除後は必ず掃除機で掃除する

この時、事前に掃除機のゴミパックも新しいものに交換しておく

ゴミパックに発生しているカビの飛散防止のため

◇ ウィルス・病原菌の媒介

神経質になるとノイローゼになりそうですが、居室内の除菌、キッチン・ダ
イニングの除菌、ドアノブの除菌など、可能な限りハイター・ブリーチ・ア
ルコールで除菌しておくことが大切

食中毒としてはサルモネラなどの媒介が有名で要注意

まな板・包丁・布巾・タオルも忘れずに除菌する

● 駆除・防除の手順

～～ 住居の場合 ～～

出没空間の確認

- 1) 寝室・台所・居間など皆さんの生活空間に出没する場合
- 2) 天井内や壁内などで音が聞こえる状態で、部屋の中には入って来ない場合

の2通りある

- 1) 寝室・台所・居間など皆さんの生活空間に出没する場合

この場合、大至急駆除して、侵入を防ぐ必要がある

① 侵入路の特定（どこから入ってくるかを調べて確認する）

▲ どの辺に多く出るか？

▲ その付近に穴や隙間があるか？

▲ 窓をしっかりと閉めて隙間がないようにしているか？

▲ 糞・足跡・黒っぽい汚れ（ネズミが体をこすり付けて汚した跡）など

ラットサインといわれるものがあるか？

▲ ネズミの鳴き声や、走り回る音が聞こえるか？

などを手掛かりに探す

② 侵入路の閉鎖・遮断（侵入口をふさぐ）

■ 可能性のある場所：全てふさぐ

■ ふさぐ材料：厚いベニア板、しっかりしたプラスチック板、ステンレス板など

■ ふさぎ方：確実に固定する（ビス【木ネジ】、接着ボンド、コーキングなどを使用）

■ 応急処置：ダンボールでも何でもよいので、とにかくふさいでおき、その後、できるだけ早く、それらの材料でしっかり閉鎖する

■ 閉鎖する手順の条件：

◇ 居室内に複数いると思われる場合は、1ヶ所は開口部を開けたままにして、中のネズミが逃げられるようにしておきながら（沢山いる状態で塞いでしまうと、部屋の中のものがかじられるなど被害を受けることがある）、並行して捕獲や殺その駆除を行い、残存数が0～1匹と思われてから閉鎖する

◇ 中にいないと思われるまで、徹底的に駆除する

③ 駆除する

ふさいだ時に生活空間からもう出ている可能性があるが、まだ中にいるものとして、しばらくの間は慎重に観察しながら、駆除作業を行う

■ 粘着マットで捕獲する

- ◇ 「ネズミは臆病なため部屋の隅を歩く」、また「部屋の中と外を行き来する」ことを念頭に粘着マットを敷き詰める
- ◇ 粘着マットはできるだけ多い方が掛かり易い（1～2枚でなく、10～20枚というように多い方が良い）
- ◇ 子ネズミは警戒しないため直ぐにかかるが、親ネズミは警戒心が強い
ため、捕獲できないことがよくある

■ 殺そ剤の使用

居室内では殺そ剤は用いない

- ◇ 死骸の腐乱や、ダニ・ノミなどの被害を受けることがあるため
- ◇ ダニ・ノミはネズミが活着している間も体からばら撒きますが、死んでしまくと、ネズミの体から離れて、人間に集るようになる（活着しているものに寄生する）

2) 天井内や壁内などで音が聞こえる状態で、部屋の中には入って来ない場合

① 居室内への侵入の防止

- ◇ 壁・天井・床などの特に接合部に狭い隙間があって、室内の明かりが壁内や天井内に漏れていると、その隙間をかじって穴を拡大し、侵入してくることがある

◇ 予め判っている場合は、板やテープなど、とにかくふさいでおくと侵入を防ぐことができる ⇒ ネズミに簡単に入れると思わせないことが重要

② 外壁や屋根、建物の外部の開口部を閉鎖する

◇ 最近の戸建の住まいは気密性が高く、天井部に開口部のあることはほとんどないが、あったらふさぐ

◇ 配管の壁貫通部、エアコンのドレン・配管の壁貫通部、換気扇や換気口の回りなどの、ネズミが入れるような隙間を探し、発見したらふさぐ

◇ 特にドブネズミは建物の周囲の庭などに穴を開けて建物内に侵入することがあるため、土に掘られた穴を見つけた時は、砂利・モルタルなどでしっかりふさいで、侵入させなくすることが重要

～～ 飲食店の場合 ～～

作業の基本的な流れは、住居と同じ

(読み進めやすいように、重複説明している部分があります)

出没空間の確認

1) 客室や厨房などの営業空間に出没する場合

2) 天井内や壁内などで音が聞こえる状態で、営業空間の中には入って来ない場合

の2通りある

1) 客室や厨房などの営業空間に出没する場合

この場合、大至急駆除して、侵入を防ぐ必要がある

① 侵入路の特定（どこから入ってくるかを調べて確認する）

▲ どの辺に多く出るか？

▲ 資材・食材などの搬出入路(出入口)を解放状態で放置していないか？

納品業者が納品時に出入口を開けたままにしている場合がある

▲ その付近に穴や隙間があるか？

▲ 窓をしっかりと閉めて隙間がないようにしているか？

換気などのために、開け放したままにしていることがよくある

▲ 糞・足跡・黒っぽい汚れ（ネズミが体をこすり付けて汚した跡）など

ラットサインといわれるものがあるか？

▲ ネズミの鳴き声や、走り回る音が聞こえるか？

などを手掛かりに探す

② 侵入路の閉鎖・遮断（侵入口をふさぐ）

■ 店舗特有の開口部検出の困難な状態として、厨房機器のような設備と壁の間に開口部があって、その穴を確認できない場合や、客室の造作形状により極めて見つけづらい場所（装飾用の梁と天井や壁の間の隙間など）に開口部のある場合がある

■ 可能性のある場所：全てふさぐ

■ ふさぐ材料：厚いベニア板、しっかりしたプラスチック板、ステンレス板など

■ ふさぎ方：確実に固定する（ビス【木ネジ】、接着ボンド、コーキングなどを使用）

■ 応急処置：ダンボールでも何でもよいので、とにかくふさいでおき、その後、できるだけ早く、それらの材料でしっかり閉鎖する

■ 閉鎖する手順の条件：

◇ 居室内に複数いると思われる場合は、1ヶ所は開口部を開けたままにして、中のネズミが逃げられるようにしておきながら（沢山いる状態で塞いでしまうと、部屋の中のものがかじられるなど被害を受けることがある）、並行して捕獲や殺その駆除を行い、残存数が0～1匹と思われてから閉鎖する

◇ 中にいないと思われるまで、徹底的に駆除する

③ 駆除する

ふさいだ時に営業空間からもう出てしまっている可能性があるが、まだ中
にいるものとして、しばらくの間は慎重に観察しながら、駆除作業を行う

■ 粘着マットで捕獲する

- ◇ 「ネズミは臆病なため部屋の隅を歩く」、また「部屋の中と外を行き来
する」ことを念頭に粘着マットを敷き詰める
- ◇ 粘着マットはできるだけ多い方が掛かり易い（1～2枚でなく、10～
20枚というように多い方が良い）

業者さんは、100枚～200枚、広さにより1,000枚と、大量に使用
する場合もある
- ◇ 子ネズミは警戒しないため直ぐにかかるが、親ネズミは警戒心が強い
ため、捕獲できないことがよくある

■ 殺そ剤の使用

居室内では殺そ剤は用いない

- ◇ 死骸の腐乱や、ダニ・ノミなどの被害を受けることがあるため
- ◇ ダニ・ノミはネズミが活着している間も体からばら撒きますが、死んでし
まうと、ネズミの体から離れて、人間に集るようになる（活着しているも
のに寄生する）

2) 天井内や壁内などで音が聞こえる状態で、営業空間の中には入って来ない場合

① 営業空間内への侵入の防止

- ◇ 壁・天井・床などの特に接合部に狭い隙間があって、室内の明かりが壁内や天井内に漏れていると、その隙間をかじって穴を拡大し、侵入してくることがある
- ◇ 予め判っている場合は、板やテープなど、とにかくふさいでおくと侵入を防ぐことができる ⇒ ネズミに簡単に入れると思わせないことが重要
- ◇ 排煙口などは、必ず閉鎖しておく
- ◇ 台車や道具類を壁にぶつけて、破損した場合など、直ちにふさぐ

② 外壁や屋根、建物の外部の開口部を閉鎖する

- ◇ 配管の壁貫通部、エアコンのドレン・配管の壁貫通部、換気扇や換気口の回りなどの、ネズミが入れるような隙間を探し、発見したらふさぐ
- ◇ 特にドブネズミは建物の周囲の庭などに穴を開けて建物内に侵入することがあるため、土に掘られた穴を見つけた時は、砂利・モルタルなどでしっかりふさいで、侵入させなくすることが重要

以上で、ネズミの防除の概要はご理解頂けたものと思います。

大切なことは、予防的な構造の造作、予防的なオペレーションが決定的に重要であることです。

駆除業者への依頼に際して

ご説明通り行ってもなかなか駆除できない場合も多々あります。

その場合は、業者に依頼することになります。

ただ、これまでのご説明のように一筋縄ではいかないのがネズミの駆除です。

業者に依頼すれば直ぐにでも解決するものと思われる方々が大変多いのも実情です。

しかし、短時間で解決したら、とても幸運なことです。

難しく、時間が掛かって普通です。

そのことを承知の上、業者にご依頼ください。

下記の免責・著作権についてのご注意をご理解いただきご利用をお願いいたします。

自己責任について

記載内容の実施に際して発生したいかなるトラブル、損害等につきましても、

私、太田有彌・(株式会社 H.L.P.R.) は一切責任をお受けしませんことを予めご承知の上にてご利用下さいますようお願い申し上げます

著作権についてのご注意

ホームページ上で公開しております、「各手引書」・「セルフクレンジングプログラム チャバネゴキブリ駆除編」は著作権法上の保護を受けており、著作権は私、太田有彌（株式会社 H.L.P.R.）に帰属致します。お客様の個人でご利用いただく目的以外、営利を目的とした配布、無断リンク等、ご利用は一切お断りいたします。全て著作権法の取り決めに則ったご利用をお願い致します。